

田上 浩輝さん
Tanoue Hiroki

〔横田区〕

たのうえ ひろき / 町教育委員会教育長。令和5年4月に就任。変化の激しい現代社会の中で子どもたちの多様な個性と可能性を伸ばすための教育を目指す。

ふるさとを誇りに思い 挑戦する心を育む

「このまちを大切に思い、常に前向きに肯定的に生き、失敗を学びに変えて立ち上げるたくましい子どもを育てたい」と話すのは、令和5年4月から町教育長に就任した田

上浩輝さん。

田上さんは、県校長会や県教育委員会などの要職を歴任。平成14年には御船小学校女子バレーボール部の監督として県大会優勝に導くなどス

ポーツの推進にも貢献してきました。「勉強やスポーツ、芸術、さまざまな側面から子どもたちの個性を見出し、それを伸ばすことが教育において大切なことです」と話す。

甲佐町西原区出身で高校卒業までの間この地で過ごした田上さんは、豊かな自然や温かい土地柄だからこそ、たく

ましさや感性が育まれたという。「甲佐町には地域の歴史に触れる体験や米づくり体験など地域の皆さんが主体となつて子どもたちを育てるという強みがあります。一方で、少人数であるため新しい仲間をつくる力が養いにくいと感じます。地域と連携した教育や異文化交流をさらに増やし、子どもがさまざまな人と関わるきっかけをつくりたいですね」と意欲を語る。

「グローバル化や技術革新が急速に進む現代、未知の世界や社会の課題、想定外の困難にも逃げずに挑戦する子どもたちの心を育みたいのです。大人は、あれはだめと規制しがちですが、子どもは失敗するもの。失敗があつてこそその教育です。やりたいことをやって失敗しても見守ってあげること、子どもたちは大きく成長すると思います」と子どもたちの持つ無限の可能性に期待を寄せる。

「世間一般的に教育長は、身近な存在ではないと思えます。機会を捉え各学校に向向き、子どもや保護者、教職員からの声を直接聴き、課題を共有できれば」と本町の今後の教育振興に考えを巡らせる。

「本町を担う子どもたちには志高く、自らの夢に向かって挑戦する意欲と能力を持つた人に育ってほしいと願っています。将来、『ふるさととは甲佐だ』と誇りを持って語り、本町をグローバルに発信してくれるようになれば嬉しいですね」とこのまちで育つ子どもたちの明るい未来を描く。



▲下校する子どもたちに声を掛ける田上教育長